

[ADSLモデム-SV フレッツ・スクウェア利用時の設定方法]

ここでは、接続設定1にプロバイダ接続、接続設定2にフレッツ・スクウェア接続の設定をする方法をご紹介します。設定後は、インターネットとフレッツ・スクウェアを同時に利用することができます。
(設定は、ADSLモデム-SV に接続しているパソコンで行います。設定画面の立ち上げ方は、ADSLモデム-SV 取扱説明書3-1をご参照ください。)

< (1) 設定画面を立ち上げる >

設定画面の立ち上げ方については、恐れ入りますが、ADSLモデム-SV 取扱説明書(P.3-1)をご参照ください。

Webブラウザを起動してください。
Webブラウザのアドレス欄に、「http://192.168.1.1/」を入力し、「Enter」キーを押してください。
ネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。

「ユーザー名」「パスワード」を入力する。
(初期の状態では以下のとおり入力してください。)

ユーザー名:user パスワード:user

「ユーザー名」「パスワード」についてはセキュリティの観点から変更してご利用になることをお勧めします。変更方法は取扱説明書(詳細編)3-3-1を参照ください。

入力後、「OK」をクリックする。

設定画面(2)では、お客様がご利用のISP(インターネットサービスプロバイダ)の設定をします。
ISPからのご案内(ISPの設定情報等が記載されているもの)をご用意ください。

< (2) メインセッション(ISP)の設定を行う >

左のメニューで「基本設定」をクリックする。

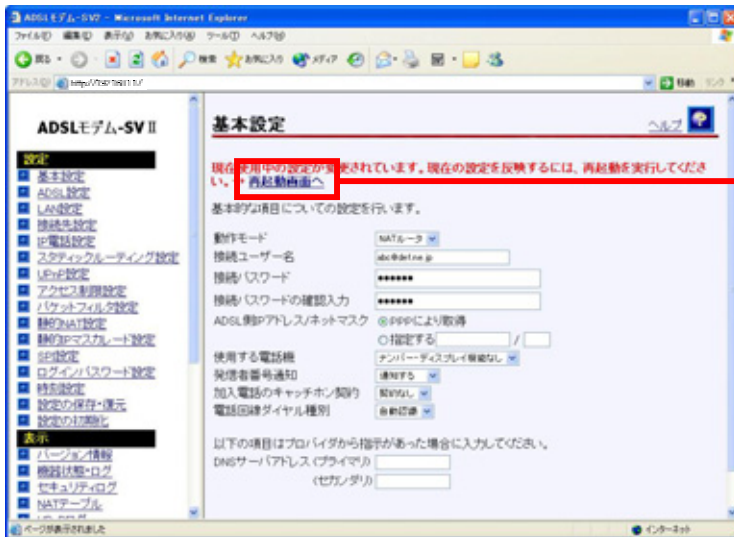
「動作モード」の▼をクリックして「NATルータ」を選択する。

「接続ユーザー名」「接続パスワード」にご契約のISPより案内された情報を入力する。

ご契約のISPよりDNSの指定がある場合は「DNSサーバアドレス(プライマリ)」「DNSサーバアドレス(セカンダリ)」に、ISPより案内されたIPアドレスを入力する。

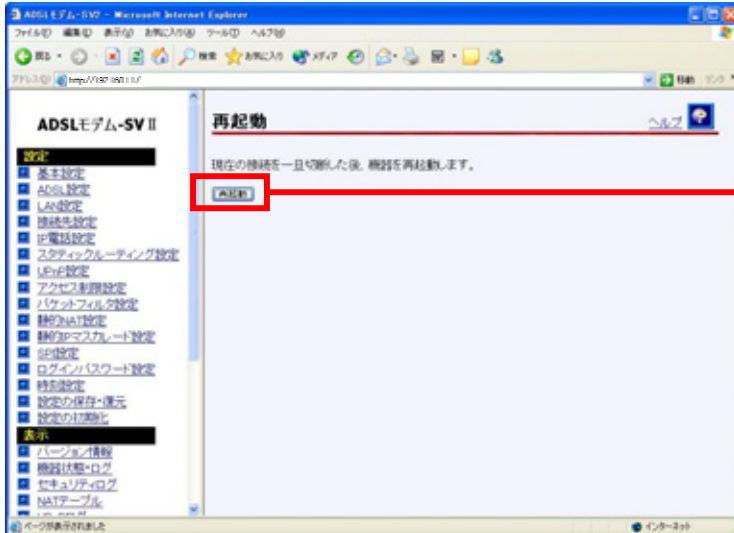
「設定」をクリックする。

< (3)-1 設定内容を保存する >



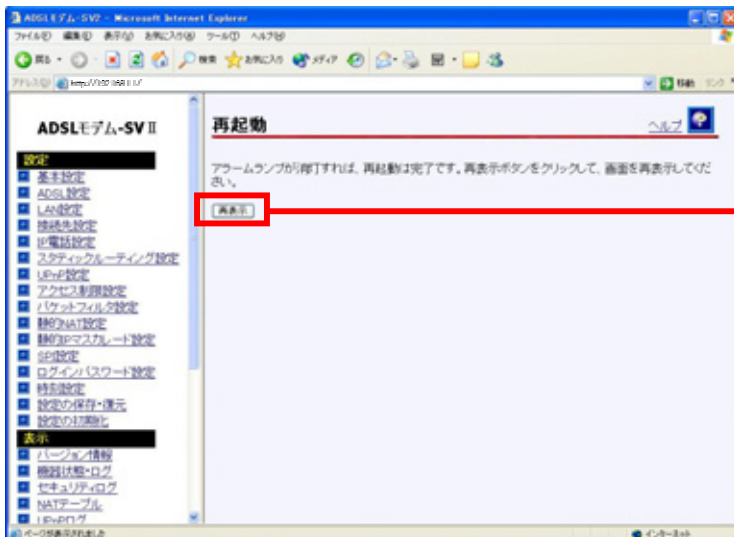
「基本設定」の画面に戻って「再起動画面へ」をクリックする。

< (3)-2 設定内容を保存する >



「再起動」をクリックしてADSLモデム-SVを再起動する。

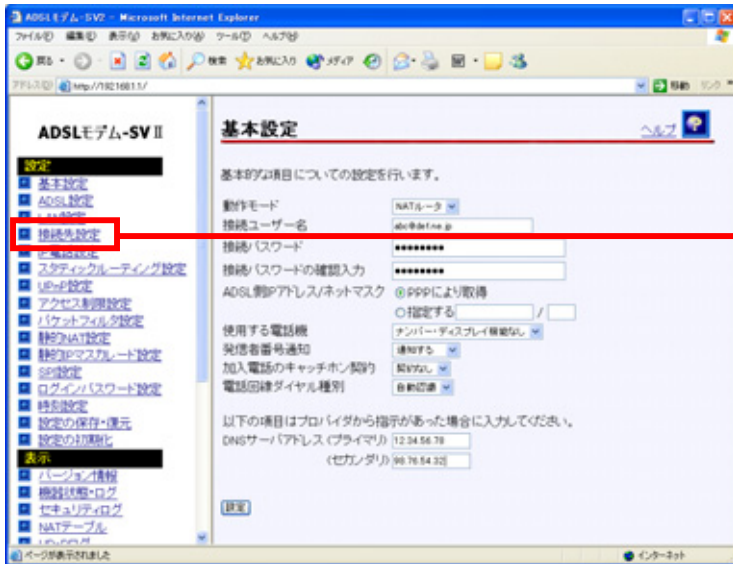
< (3)-3 設定内容を保存する >



「再表示」をクリックします。

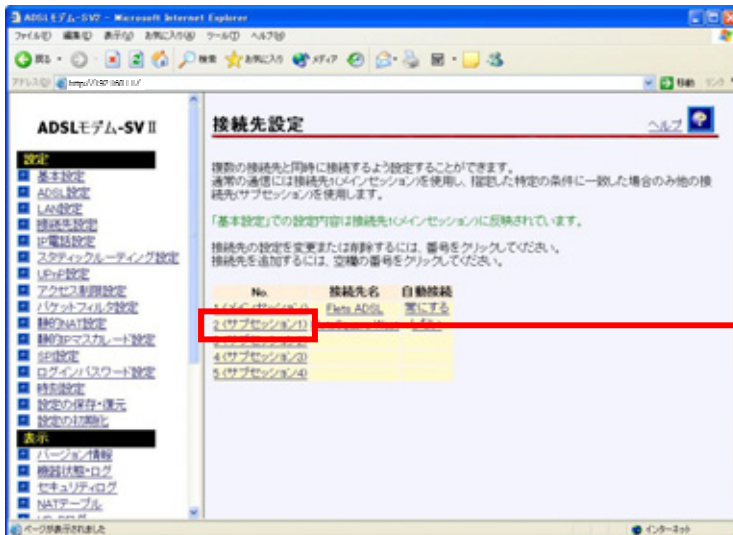
ADSLモデム-SV は、「接続先設定」のNo.2(サブセッション1)にあらかじめ、フレッツ・スクウェアを利用するための設定がされています。
設定画面(4)以降で、インターネットとフレッツ・スクウェアを同時にご利用するための設定をします。

< (4)-1 サブセッション(フレッツ・スクウェア)の設定を行う >



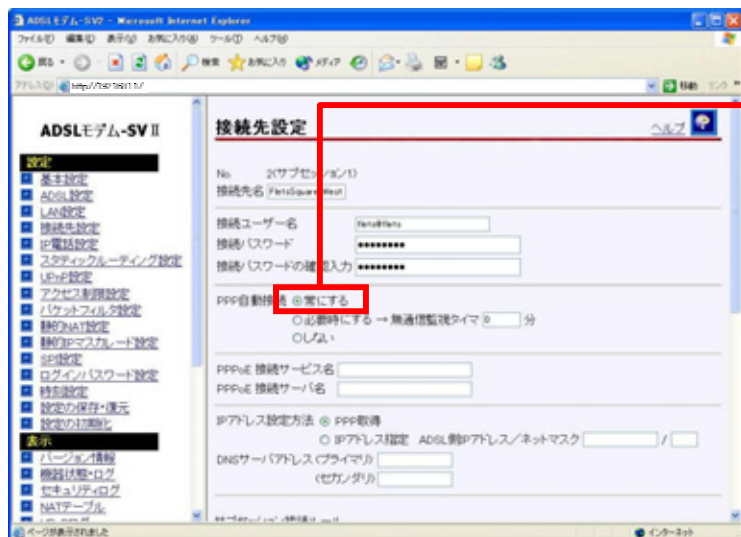
「接続先設定」をクリックする。

< (4)-2 サブセッション(フレッツ・スクウェア)の設定を行う >



「2.(サブセッション1)」をクリックする。

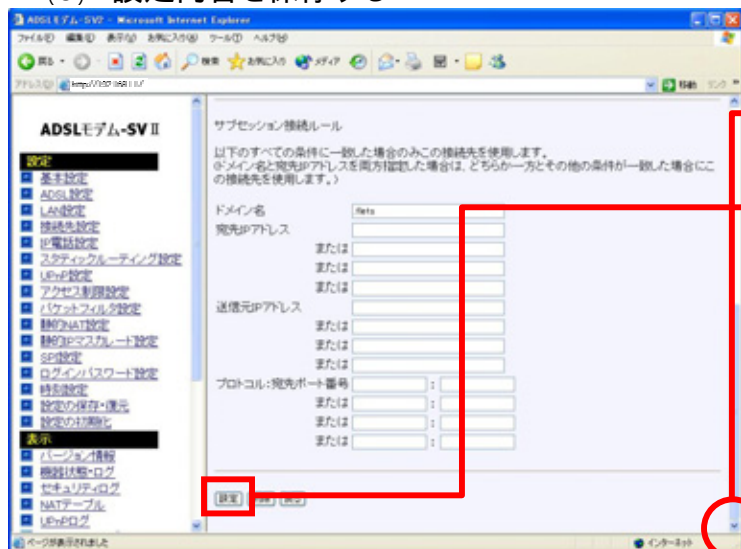
< (4)-3 サブセッション(フレッツ・スクウェア)の設定を行う >



「PPP自動接続」をご利用方法に合わせて「常にする」もしくは「必要時にする」のどちらかにチェックをする。

「常にする」を選択した場合は、フレッツ・スクウェアを利用するかどうかにかかわらず、常にフレッツ・スクウェアに接続された状態になります。
 「必要時にする」を選択した場合は、フレッツ・スクウェアへアクセスした時点で、フレッツ・スクウェアへの接続が行われます。この場合、「無通信監視タイマ」を設定しておくことで、フレッツ・スクウェアにアクセスしていないときには、自動的に接続が切断されます。(「0」に設定した場合は、切断されません。)

< (5) 設定内容を保存する >



画面右下の▼をクリックして、下の画面を表示させる。

「設定」をクリックする。

< (6) 再起動を行う >



画面左側メニューの▼をクリックして、下の画面を表示させる。

画面左側メニューの「再起動」をクリックする。

「再起動」をクリックして、ADSLモデム-SV を再起動する。

これで設定は終了です。お客様のパソコンは、フレッツ・スクエアを利用しながら同時にインターネットもできる環境になりました。